

植物

種名	マルバティショウソウ (<i>Ainsliaea fragrans</i>)
指定の理由	県内のみならず四国での自生地が1箇所のみで、野生状態での開花が少ない。
形態	落葉樹林および常落混交林の林縁や崖状になる斜面に生育する多年草。茎は高さ45～60cm。葉は茎の下方に輪状にまとまってつき、有柄、褐色の長い軟毛を密生し、葉身は卵形で円頭、基部は深い心形、全縁か少し微凸があり、両面に褐色毛が密に生えている。花は11～12月頃で、白色の花をつける。頭花は穂状につき、下向きに咲く。小花は3個、花冠は長さ12～13mm、筒部は6.5mm。
生育分布状況	四国で唯一の自生地が土佐清水市にある。温暖帯の林内に生育する。
種の存続を脅かす要因	自然遷移、森林伐採
保護に関する指針	県内全域において知事の許可を受けた場合以外は、当該種の採取等を禁止するものとする。
高知県レッドデータブック掲載状況	CR(絶滅危惧ⅠA類)
高知県希少野生動植物保護基本方針該当項目	ア その存続に支障を来す程度に個体数(生息・生育密度含む)の減少が顕著な種 イ 生息・生育地における環境条件が著しく悪化若しくは消滅しつつある種



写真提供: 高知県立牧野植物園

参考文献

米倉浩司(2017)キク科ティショウソウ属. In: 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩(編). 日本の野生植物5. p.210. 平凡社. 東京.

赤澤時之(1978)マルバティショウソウが土佐にも産す. 高知県の植物1. 土佐植物研究会. 8-9.